

衣笠

社会福祉協議会だより

発行所
衣笠学区社会福祉協議会広報部
[メールアドレス]
kinugasa2010times@gmail.com
ご意見、記事等がございましたら、
上記アドレスへ書込み下さい
第3号

突然の雨の夏まつり

雨の中、恒例となりました衣笠社会福祉協議会主催「衣笠夏まつり」を8月27日に開催いたしました。年々参加者も増え、少しずつではありますが賑やかな雰囲気になってきたように思います。

今回は途中から雨が降り出すという最悪の天候でしたが、多くの方が帰宅することなく夜店を楽しみながら花火の開催を信じ最後まで待っていただきました。



お祭りには欠かせぬ綿菓子には、いつも行列が

結局、雨は最後まで降り続け、花火は中止となってしまいました。多くの方が楽しみにしていただいているという実感を運営に携わった全員が感じることができ大変嬉しく思っております。

来年(8月25日の予定)は、きっといい天気になると思います。楽しみにしてください。

ありがとうございます。

なお暑い中、日を改めての撤収作業を実施していただきました大勢の方々はこの場をお借りして御礼申し上げます。

23年度夏まつり実行委員長 鍵田 洋



夕焼け、提灯の灯りの下、浴衣姿で踊り始めた盆踊りの輪が大きくなりました。



消防分団の方に準備いただき、スタンバイしておりました幻となった大変立派な花火の写真を見てってください。



水鉄砲を手に夢中で的を射る子ども達、昔懐かしいレトロな遊びに歓声をあげています。

『すこやかサロン』

赤十字地域防災セミナー
災害時、高齢者生活支援のために

民生児童委員会・老人福祉委員会・日赤奉仕分団



『すこやかサロン』は、関係各位のお力添えにてお蔭様で今年9月15日で丸一年12回目の開催となりました。毎回参加者は、25〜35名ほどが集い、
①軽い全身を動かす体操指導
②高齢者向け栄養指導
③日々の飲食に重要な口腔指導
その都度専門の講師の先生方に手ほどきしていただいております。
また、時にはその折々の季節・時節に応じて、色紙や

和紙、折紙、色紙を用いて作品の制作などもしております。今後は、年に数回の『こそだてサロン』との合同開催も考えております。
8月18日には赤十字地域防災セミナーが開催されました。今年3月11日に、東日本大震災が発生し被災地では未だに多くの方々が窮屈な避難所生活を余儀なくされておられます。
このような災害等いざという時、どのように行動、対処すればよいのかを、日本赤十字社京都府支部から事業推進課長山田二三男、同課健康生活支援係長前田ゆかりの両名に、北区役所まちづくり推進課からは2名お越しいただき講義を受けました。衣笠学区の75歳から最高齢者は90歳代の参加者が15名、そして民生児童委員、老人福祉委員、日赤町委員、日赤衣笠分団等スタッフ側からは18名の総勢

37名が集合しました。講義では、未曾有の大災害でも少なくとも3日以内には必ず現場に到着出来るように、出動体制を常時整えていますとの力強いお言葉と、実技では参加者も加わっての、ホットタオルの作り方、タオルケットや毛布を使ったガウンの羽織り方、風呂敷を使ったリュックサックの作り方など、いざという時実践的に役立つノウハウの詰まった技術指導に、戸惑いや苦笑に時折笑い声や微笑みも浮かぶ和やかな雰囲気の中にも、大いなる関心の眼差しが印象的でした。
高齢者生活支援の対象の方々にもお元気なあいだに受講していただいて、これらの知識を基にいざという時自分自身の身を守っていただくは言うに及ばず、自分自身の心に余裕があれば、同年輩の方々や周囲の方々にも余裕や、ゆとりを持って積極的にお声掛けしていただければ、幸いかなとの思いからでした。



日時 毎月第3木曜日午前10時〜2時間
場所 衣笠クラブハウス
『こそだてサロン』
対象者 衣笠在住の就学前のお子さんとその保護者
日時 毎月第1木曜日午前10時〜2時間

『すこやかサロン』
対象者 衣笠在住75歳以上の方

日時 毎月第3木曜日午前10時〜2時間
場所 衣笠福祉会館
【お誘い合わせのうえ、多くの方々のご参加をお待ちします】
日本赤十字社京都府支部北区地区衣笠学区奉仕分団長
山本 勝保



体育振興会 元気いっぱい の力走と大声援!

10月9日に衣笠体育振興会は「区民大運動会」を開催しました。
大歓声が響き渡る洛星中高校グラウンドでは、一杯に走るお父さんや子ども達の競技に一喜一憂

する町ぐるみの家族ぐるみの声援が起こります。快晴の空の下、町別対抗競技や親子で参加するオープン競技など多くの方々に参加して頂き、大盛況のうちに終えることが出来、皆様のご協力と各種団体のお力添えのお陰と感謝しお礼申し上げます。

少年補導委員会

今年も田村神社へ行つて来ました!



8月6日(土)～7日(日) 北少年補導委員会 衣笠支部主催の教育キャンプが開催され、自然がいっぱいの「田村神社」へ衣笠の子ども達約60名が今年も行ってきました!

木立に囲まれ森林浴の通路を歩き、きれいな流れの田村川で川遊び、夕食は河原で焼肉パーティーなど天候にも恵まれ、めっちゃ「グーグー・すやすや」皆様ご楽しい二日間、帰りのバスでは 苦労さまでした。



自主防災会 衣笠学区総合防災訓練

衣笠学区自主防災会では、9月11日に衣笠小学校において総合防災訓練を実施しました。

午前9時30分に花折断層系の地震発生し地域の被害も甚大との想定で行われ、約200名の学区民が参加しました。

炎中訓練ハウスを通り抜け体育館に集まった後、立命館大学 鐘ヶ江教授に防災について演題「安全安心のまちづくりと災害

対応型自販機」の講話をしていただきました。

その後、北消防署員の指導の元、応急手当コーナー・家屋倒壊救出訓練・消火訓練(バケツリレー)の体験をし、最後にランチルームにおいて非



常食の配給訓練を行いました。

暑い中でしたけれども皆さん真剣に聞いておられました。いざという時は慌てるかもしれないですが、このような訓練を少しずつ積み重ねる事によって落ち着いて行動できるようになります。

消防分団をはじめお手伝いをしていただいた各種団体の皆様、朝早くからありがとうございます。

伝統工芸に学ぶものづくり体験 「京扇子づくり」

京都歴史回廊協議会事務局(立命館大学社会連携課)

8月27日(土) 午前9時から、京都歴史回廊協議会による「伝統工芸に学ぶものづくり体験」が衣笠小学校クラブハウスにて開催され、伝統工芸「京扇子」づくりを1年生から6年生までの44名が体験しました。



まず、講師の清水則雄氏から扇子の歴史や扇子を通じてのしきたりなどの説明を受け、その後、扇子づくりの工程を実演していただきました。参加された皆さんには、張り合わせた紙に扇骨を差し込む工程にチャレンジしていただきました。はじめは「こんな無理や!」と悪戦苦闘でしたが、徐々に出来る子ども達が増え、お昼前には全員が自分の扇子を持ち帰ることができました。児童の皆さんは作った扇子を自分で使うのでしょうか、誰かにプレゼントするのでしょいか。息子や娘が作った扇子であればさぞかし涼しいことでしょうね。京都歴史回廊協議会は様々な地域に根ざした活動を実施しています。これからもよろしくお願ひください。

衣笠青色防犯パトロール隊を 発足させましょう



先般の衣笠社会福祉協議会で衣笠青色防犯パトロール隊発足案が決まりました。これは我々区民のボランティアで小学生の登下校時など、地域の巡回を行ない安心して安全な町作りを目指し、犯罪に対する抑止効果を図るものです。

以下 具体的な募集要項を掲載いたします。

- ①老人へのひったくり！中高生に対する恐喝！バイクで女性に悪戯行為などが発生しています！
- ②地区のこども達、お年寄りを守る衣笠青色防犯パトロール隊を発足させましょう

パトロール活動としては

- ①衣笠小学校の曜日を決めて登下校時に隊員がパトロール車で巡回します
- ②夏休みの夜間パトロール・年末防火キャンペーン
- ③PATの方々とのパトロールなどを行い防犯に対する抑止効果を図ります

<学区の皆様へボランティアのご協力をお願い致します>



衣笠青色防犯パトロール隊発足の手順

1、衣笠社会福祉協議会を通じて学区の皆様へ下記ボランティアの応募をいたします

- ①パトロール隊員を募集します 東西の地区に分け各10名 合計20名
- ②パトロール車の提供者も募集します ご提供頂くお車の塗装は変えず巡回時に別色のステッカーを張ります (青色回転灯は脱着式も有り大きな改造は致しません)
- ③西大路通りを中心に東西に分け2台のパトロール車が必要です

2、この後、実行委員会を設置し当局への申請・講習・標章・実施者証の交付・運輸局等の手続きを行い発足いたします

○衣笠青色防犯パトロール隊はボランティア活動ですが回転灯の費用や燃費など必要経費につきましては衣笠社会福祉協議会を始めとし衣笠小学校PTA・PTA賛助会・北少年補導委員会衣笠支部・日赤衣笠分団・衣笠保健協議会・衣笠消防分団などの各地域団体からご支援をうけ基金として運営させていただきます。

皆様のご応募を心よりお願いいたします

・・・ご応募・お問い合わせ・・・

衣笠青色防犯パトロール隊世話役

電話・FAX 461-4432 (東條)

①ご住所

②ご氏名

③性別

④生年月日

⑤電話

⑥お車も提供頂ける方は車種

ご応募はファックスで11月末までお願いいたします



この四月に前任の西村校長に代わり北上支部の鷹峯小学校より着任しました高橋です。どうぞよろしくお願いたします。さて、着任以来いろいろな機会を得てお話をさせていただいて



衣笠小学校校長
高橋 義弘です
よろしくお願いたします

いることですが、各種団体をはじめとして衣笠学区の皆様、子どもたちや学校に対する温かく熱い思いを様々な場面で感じています。平成二十五年には創立百四十年を迎えるという歴史の中で、まさに地域で子どもたちを守り育てていくという衣笠の伝統が脈々と受け継がれているということを実感しております。児童数が減少傾向にある中で現在は三百四名の児童が在籍していますが、教職員一丸となつて、地域から信頼される学校づくりをめざして取り組んでおりますので、今後も学区の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いたします。